
キーホルダー

次女

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キーホルダー

【Nコード】

N0199G

【作者名】

次女

【あらすじ】

この小説は主人公さくらがさまざまな過ちを犯し友達を傷つけしかししっかりと前に進む中学生時代の話と恋愛という物語ですが悲しい思いばかりを経験してしまう高校生活と前編後編にわけ書かれた作品です。すべて実話になります。少々フィクションもございますがほとんどが実話になります。ぜひ呼んでください。

プロローグ

『お母さんおはよー』

『おはよーご飯は!?!』

『いないー!じゃあ行ってきまーす』

『いやいやお母さんもやけん待ってー(泣)』
今日は入学式!

私中村さくらは友達ができるかとかで緊張と期待で胸がいっぱいでした。

ちなみに私は新体操をしていたおかげでチアリーダーデイングの特待で高校にはいることができた。

母と駅に一緒に行きかずはと一緒に学校に向かった。

実はかずはと同じ高校なのです。(笑)私は学校につくと新体操をしていた幼なじみでもある斎藤みさきと一緒にクラス分け掲示板に向かった。

『はあーみんな知らんし(泣)』

『みさきどうやった!?!』

『うちは地元やけ結構知っとる人いたけん良かったー』

『まじかよ（泣）』

そんなこんなで落ち込みながらも私たちは体育館に向かった！

クラスごとに座るまめみさきと分かれて1年10組の席に座った。
うわー隣の子ばり派手やな！

『ねえねえどこ中！？』

私に話しかけて来たのは派手派手の隣の子だった！

『○○中よ。』

私は意外とシャイなのでとてもそっけない返事になってしまい言った後私は後悔してしまった：

『へえー』

予想通りの返事（泣）

そしてその後隣の子は私の周りの子に絡んでいた。それから隣の子は友達を頑張って作っているようで教室まで上がる約束をしてるみたいだった：左前右前後ろに：ってえ！？うち抜かされとるやーん（泣）

まっ私はクールかまして一人で教室上がったし（怒）

したら私はやはり自分から声をかけないせいもあり私の隣に座っていた子たしか名前は前田ちえみっていったな。でその子が中心でクラスがまとまりつつあった：

で私はとりあえず母と合流した。

で指定された席に付き母から携帯をうけとった。すると担任が教室に入ってきて席を保護者に譲るよう指示されたので私は地べたにあらを書き携帯を堂々と扱っていた。

この時の私は、高校生とは携帯も学校でさわれてばりミニスカがよくて髪もほどこいてよくて…など思っていたが私の理想も次の担任の声で崩された…

『おい！一番後ろの子携帯を触るな！』

『え！？うち！？』その瞬間母の顔が私の方に向いたのがわかったので私はうつむいた（泣）

それからも容赦ない担任は

『この学校はここら辺でも一番風紀が厳しいです。郊外指導もあるからよく注意しておいてください。それから…』

その後も長々と担任の話していた。私はそれと同時にテンションがどンドン下がっていった…

そしてその日は部活の顧問に挨拶してかずはと一緒に帰った。

『あたしまじ出遅れたー（泣）』

『私もやしー（泣）』

『かずはは大丈夫な気がする。（笑）』

『そんな予想いらないからー（怒）（笑）』

そして次の日かずはと電車に乗っていると次の駅からかずはの中学の時仲良かったらしい隣の学校の子が乗ってきた。

あれ!?! なんか知っとなるなー

『ねえねえあなた同じクラスやない!?!』

え!?! ああーそうやった(笑)

『やっぱり!?! 私も思ったんよ。私中村さくらよろしくな。』

『私佐藤ひろみよろしく。』

この日から少しずつ友達が増えていった…形だけの友達が…

教室にあがるとすでにほとんどの子が来ていて盛り上がっていた。

会話はいつもおなじみの『どこ中!?! かわいいね。』

とかおだてあいばかり…

私はとりあえずとなりに話しかけてみた。

『名前なんて言うത്!?!』

『…安武まち…』

暗い（汗）

でもそこで朝一緒にきたひろみが来てくれてなんとか助かった。

そして担任が来たためみんな席着いた、

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0199g/>

キーホルダー

2010年10月26日05時52分発行